

## 第1回かながわ脱炭素大賞募集要項

脱炭素の取組及び地球温暖化の影響への適応の取組に関し、特に功績が顕著であった個人又は団体に対し、その功績を顕彰する。

※ 「脱炭素の取組」とは、地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「脱炭素社会の実現」に資する、温室効果ガスの排出削減または吸収の対策を指します。

※ 「地球温暖化の影響への適応」とは、気候変動の影響に対して、その影響と被害を軽減するための農林水産業、自然災害、水資源・水環境、自然生態系、健康等の各分野における取組を指します。

### 1 主催者

神奈川県、tvk（テレビ神奈川）

### 2 募集部門

#### (1) 普及・促進部門

脱炭素の取組及び地球温暖化の影響への適応に係る普及・促進について実践的な活動を行った者で、その功績が顕著で他の模範となるもの

#### (2) 先進技術・導入部門

脱炭素に関する先進的な技術開発や先進的な再生可能エネルギーの導入等を行った者で、その功績が顕著で他の模範となるもの

#### (3) ユース未来部門

(1)又は(2)のいずれかに該当する取組を行った30歳未満の者で、その功績が顕著で将来性を期待できるもの

### 3 応募要件

#### 共通

①専ら県内で行われた活動であり、②原則として、神奈川県内に事務所若しくは事業所を有する法人、学校等、その他の団体（学校・NPO等）又は神奈川県内に在住、在勤若しくは在学している個人。

※ 先進技術・導入部門は、②の要件は適用しません。

#### 部門別

#### (1) 普及・促進部門 【下記ア、イとも必須】

ア 次のいずれかに該当し実践的な普及・促進活動を行った個人若しくは団体で、その内容において活動実績や独自性、普及効果、連携、継続性等において優れていると認められるもの。

(ア) 再生可能エネルギーの導入等や省エネルギーの取組の拡大に貢献したもの。

(イ) 脱炭素型ライフスタイルや事業活動の拡大に貢献したもの。

(ウ) 脱炭素への関心を高め、学び、行動する人を増やすことに貢献したもの。

(エ) 農林水産業、自然災害、水資源・水環境、自然生態系、健康等の各分野で、地球温暖化の影響への適応に係る普及に貢献したもの。

イ 上記アの活動は、原則として、概ね5年以上にわたって継続し、かつ、将来にわたり継続する見込みのあるものであること。

#### (2) 先進技術・導入部門 【下記ア、イとも必須】

ア 次のいずれかに該当する個人若しくは団体で、その内容において先進性や独自性、経済性、削減効果の持続性、他者への波及効果又は技術等の普及の度合いが優れていると認められる

もの。

- (ア) 先進的な再生可能エネルギー及び省エネルギーに係る地球温暖化対策技術又は製品の開発や提供により、従来の一般的な技術等（地球温暖化対策技術及び温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスをいう。以下同じ。）と比べて、温室効果ガス排出量の削減量、削減率又は排出量原単位において優れ、削減への寄与の実績を上げ又は今後寄与することが確実に期待できるもの。
  - (イ) 地球温暖化防止につながる革新的又は新しいカテゴリーの製品やサービスの開発・提供を行ったもの。
  - (ウ) その他、温室効果ガスの排出量の相殺を行う製品等の提供などの地球温暖化対策技術の開発・製品化や温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスの開発・提供に関して特に優れた取組を行ったもの。
  - (エ) 再生可能エネルギーの導入やエネルギー使用の効率化等に関して特に優れた取組を行ったもの。
- イ 上記アの取組は、原則として、令和3年度から令和6年度の間に行われたものであること。

**(3) ユース未来部門 【下記ア、イとも必須】**

ア 次のいずれかに該当する取組を行った30歳未満（令和6年10月1日時点）の者、学校教育法第1条で定める学校及び専修学校、省庁が設置する大学校、各種学校、保育園（以下、「学校等」という。）又は構成員の過半数が30歳未満（令和6年10月1日時点）の者である団体で、その内容において取組実績や若年者らしい独自性、将来性、普及効果等において優れていると認められるもの。

※ 学校等に該当するか不明な場合は、事前にお問合せください。

- (ア) 次のいずれかに該当する実践的な普及・促進活動
    - a 再生可能エネルギーの導入等や省エネルギーの取組の拡大に貢献したもの。
    - b 脱炭素型ライフスタイルや事業活動の拡大に貢献したもの。
    - c 脱炭素への関心を高め、学び、行動する人を増やすことに貢献したもの。
    - d 農林水産業、自然災害、水資源・水環境、自然生態系、健康等の各分野で、地球温暖化の影響への適応に係る普及に貢献したもの。
  - (イ) 次のいずれかに該当する先進技術・導入に係る取組
    - a 先進的な再生可能エネルギー及び省エネルギーに係る地球温暖化対策技術又は製品の開発や提供により、従来の一般的な技術等（地球温暖化対策技術及び温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスをいう。以下同じ。）と比べて、温室効果ガス排出量の削減量、削減率又は排出量原単位において優れ、削減への寄与の実績を上げ又は今後寄与することが確実に期待できるもの。
    - b 地球温暖化防止につながる革新的又は新しいカテゴリーの製品やサービスの開発・提供を行ったもの。
    - c その他、温室効果ガスの排出量の相殺を行う製品等の提供などの地球温暖化対策技術の開発・製品化や温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスの開発・提供に関して特に優れた取組を行ったもの。
    - d 再生可能エネルギーの導入やエネルギー使用の効率化等に関して特に優れた取組を行ったもの。
- イ 上記アの取組は、原則として、令和3年度から令和6年度の間に行われたものであること。

## 【留意事項】

### ①同一功績による複数部門への応募について

同一の功績について複数の部門に応募することは可能ですが、受賞は1つの部門に限られます。

例：5年以上普及啓発活動を継続する30歳未満の者が、「普及・促進部門」及び「ユース未来部門」に応募。

⇒選考の結果、若年者らしい独自性を特に評価できるため「ユース未来部門」で受賞。

### ②表彰対象外としての取扱い

**全ての部門について、次の項目に該当する場合は表彰の対象としないため、応募できません。**

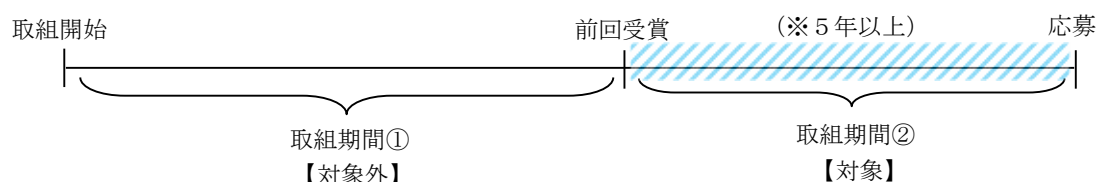
ア 同一の功績により、表彰を実施する年度の前5年度以内にこの表彰を受賞したことのあるもの。

イ 同一の功績により地球温暖化対策及び再生可能エネルギーの導入等に関する国、神奈川県等が行う顕彰を受けたもの。

ウ 環境関連の法令、条例、規則等に違反したもの。


(注) 過去に受賞したことがある場合の審査対象期間について

前回受賞時点で対象とした功績は、上記ア・イにおける「同一の功績」として扱います。前回の受賞時点から5か年度を超えた場合は再び応募が可能ですが、前回受賞時までの功績は審査の対象外とし、「前回受賞時点以降の取組」のみを対象とすることに御留意ください。



## 4 応募手続き

応募期間	令和6年6月12日（水）から9月17日（火）まで（郵送の場合は当日消印有効）
提出書類	(1) 普及・促進部門
	〔個人〕 ①申請書（様式1）②応募（推薦）調書〔普及・促進部門 個人用〕（様式2） ③その他参考となる資料（A4サイズ、合計20ページ以内）
	〔団体〕 ①申請書（様式1）②応募（推薦）調書〔普及・促進部門 団体用〕（様式3） ③定款、寄附行為、規約、会則等の写し（A4サイズ） ④その他参考となる資料（A4サイズ、合計20ページ以内）
	(2) 先進技術・導入部門
	〔個人〕 ①申請書（様式1）②応募（推薦）調書〔先進技術・導入部門 個人用〕（様式4） ③その他参考となる資料（A4サイズ、合計20ページ以内）
	〔団体〕 ①申請書（様式1）②応募（推薦）調書〔先進技術・導入部門 団体用〕（様式5） ③定款、寄附行為、規約、会則等の写し（A4サイズ） ④その他参考となる資料（A4サイズ、合計20ページ以内）

	<p>(3) ユース未来部門</p> <p>〔個人〕</p> <p>①申請書(様式1) ②応募(推薦)調書〔ユース未来部門 個人用〕(様式6)</p> <p>③30歳未満であることを証する書類</p> <p>※生年月日の記載のある免許証や学生証の写し、マイナンバーカードの表面の写し等(※マイナンバーが記載された裏面は提出しないでください)</p> <p>④その他参考となる資料(A4サイズ、合計20ページ以内)</p> <p>〔学校等〕</p> <p>①申請書(様式1) ②応募(推薦)調書〔ユース未来部門 学校等用〕(様式7)</p> <p>③定款、寄附行為、規約、会則等の写し(A4サイズ)</p> <p>④その他参考となる資料(A4サイズ、合計20ページ以内)</p> <p>〔団体〕</p> <p>①申請書(様式1) ②応募(推薦)調書〔ユース未来部門 団体用〕(様式8)</p> <p>③定款、寄附行為、規約、会則等の写し(A4サイズ)</p> <p>④団体構成員の年齢に関する誓約書(様式9)</p> <p>⑤その他参考となる資料(A4サイズ、合計20ページ以内)</p>
	<p>備考</p> <p>※ 上記様式1～9は、かながわ脱炭素大賞表彰実施要領に定める様式です。「かながわ脱炭素大賞」のホームページからダウンロードできます。 URL: <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f530926/datsutansotaisho.html">https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f530926/datsutansotaisho.html</a></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>こちらの二次元コードからも、「かながわ脱炭素大賞」のホームページをご覧ください。</p> <p><a href="#">かながわ脱炭素大賞</a> <input type="button" value="検索"/></p> </div> <p>※ 提出書類は、A4サイズで作成してください。また、参考資料は合計20ページ以内としてください。冊子、パンフレットなどは該当箇所のみをお送りください。</p> <p>※ 提出いただいた書類は、返却いたしません。</p> <p>※ 自薦・他薦は問いませんが、他薦の場合は、予め被推薦者から推薦に係る了承を得たものに限り、<u>また、同一の推薦者による推薦件数は原則として5件を上限としますが、5件を超える可能性がある場合には相談に応じますので、事前に御連絡ください。</u></p>
<p>提出方法</p>	<p><b>電子申請又は郵送により提出してください。</b></p> <p>①電子申請の場合</p> <p>「かながわ脱炭素大賞」のホームページからリンクしている「<b>かながわ脱炭素大賞 応募受付フォーム(電子申請用)</b>」に必要事項を入力の上、電子ファイルを添付して申請(送信)してください。データは100MBまで添付可能です。</p> <p>②郵送の場合</p> <p>下記提出先あて提出書類をお送りください。(当日消印有効)</p> <p>【提出先】</p> <p>〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1 神奈川県 環境農政局 脱炭素戦略本部室 企画グループ 電話 045-210-4076(直通)</p>

## 5 選考

有識者等で構成する審査委員会において選考し、主催者が受賞者を決定します。

※ 選考に当たっては、原則として提出された調書等のみに基づき審査しますので、取組の内容について具体的な数値等を用いて漏れのないよう記載してください。ただし、特に必要が生じた場合は個別に確認させていただくことがあります。

## 6 選考結果

選考結果は、応募者及び推薦者に文書で通知します。

## 7 表彰式など

表彰式は、令和7年1月頃に実施します。

受賞された取組、製品については、各種広報媒体や県ホームページ等を通じて広く紹介する予定です。

## 8 各様式の記入留意事項

### (1) 申請書（全部門共通：様式1）

#### ア 団体名・氏名又は団体代表者名

法人又は学校・NPO等団体は主たる事務所の名称及び代表者の氏名を記入してください。個人の場合は、団体名は空欄としてください。

#### イ 取組の名称及び取組の概要

自薦の場合は上段に記入し、他薦の場合は下段に被推薦者名を含めて記入してください。

#### ウ 被推薦者の了承

推薦をする場合、被推薦者の了承を得て、了承済みにチェックをお願いします。

### (2) 応募（推薦）調書（普及・促進部門：様式2及び様式3）

#### ア 基本情報

個人の場合は氏名・連絡先・住所・職業を、団体の場合は団体名・代表者職氏名・所在地・連絡先・担当者名を記入してください。

#### イ 団体の事業内容

団体の場合は、構成員数、設置目的、これまで活動してきた履歴等を簡潔に記入してください。

#### ウ ウェブサイト、SNSなど

活動内容等をウェブサイトやSNS（フェイブック等）などで紹介している場合、URLを記入してください。

#### エ これまでの受賞歴

今回の表彰の対象として応募した取組に関し、過去に受けたことのある賞の名前、賞の主催者及び受賞した年度を記入してください。

#### オ 主な活動地域

活動している主な地域について記入してください。（例：〇〇市内、神奈川県全域）

#### カ 活動の目的

活動を始めた動機や目的・目標などを記入してください。

#### キ 神奈川県との関わり

県と連携して活動した実績がある場合は記載してください。

#### ク 活動開始年月、活動期間

活動を開始した年月と、活動期間を記載してください。

#### ケ 活動の内容

具体的な活動内容について、実施頻度・参加人数、活動における工夫や独自で実践してい

る内容、地域や他団体への普及や連携等、記載例を参考に、実績及び成果をできるだけ具体的に・定量的にもれなく記入してください。

○ 活動実績

脱炭素に向けた実践的な活動の期間及び範囲等具体的な活動内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。

※ この欄に記入しきれない場合は、別紙（様式任意）にて追加説明が可能です。その場合は「備考」欄に資料名等を記入してください。

○ 独自性

活動における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。

○ 普及効果

地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。

○ 連携

地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の見込み等を記入してください。

○ 継続性

今後どのように継続的に展開していくのか、将来に向けた活動の予定や発展の見込み等を記入してください。

○ その他

上記のほか、活動の成果や、アピールしたいポイントなどを自由に記載してください。

コ 推薦理由

他薦の場合は、推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。

サ 備考

活動の内容が分かる参考資料等を添付した場合はその資料名等を記入してください。

※ 参考資料等は、A4サイズで合計20ページ以内としてください。冊子、パンフレットなどは該当箇所のみをお送りください。

(3) 応募（推薦）調書（先進技術・導入部門：様式4、様式5）

ア 基本情報

個人の場合は氏名・連絡先・住所・職業を、団体の場合は団体名・代表者職氏名・所在地・連絡先・担当者名を記入してください。

イ 団体の事業概要

団体の場合は、構成員数、設置目的、これまで活動してきた履歴等を簡潔に記入してください。

ウ ウェブサイト、SNSなど

活動内容等をウェブサイトやSNS（フェイスブック等）などで紹介している場合、URLを記入してください。

エ これまでの受賞歴

今回の表彰の対象として応募した取組に関し、過去に受けたことのある賞の名前、賞の主催者及び受賞した年度を記入してください。

オ 取組の実施期間

今回の表彰の対象として応募した取組等の実施期間、また通算期間を記入してください。

カ 取組の内容

○ 開発した技術や製品・サービスの内容について

技術や製品・サービス内容開発を行った考え方・時期・内容（技術や製品のポイントや具体的な仕組み）について記入してください。

また、一般的な技術等又は従来の製品と比較した場合の温室効果ガスの削減量又は削減率を記入してください。

- 取組の先進性・独自性  
一般的なものと従来のものと比較した場合、どのような点で先進的であるか、また、他に類似のものがない独自のものであるかについて記入してください。
- 経済性・効果の持続  
当該開発を行った技術や製品・サービスが費用対効果や経済性の面でどのように優れているか。その効果はどの程度持続していくものと見込まれるのか。また、単体としての温室効果ガスの削減効果だけではなく、一定程度普及した想定での効果、具体的な導入モデルケース等における効果など可能な限り定量的かつ簡潔に記入してください。
- 他者への波及効果又は技術の普及度合い  
当該開発等を行った技術や製品・サービスについて、想定される波及効果や普及状況について記入してください。また、販売実績等の定量的な数値がある場合は、その内容を記入してください。また、当該取組について、学会等への発表やマスコミの報道等の事例があった場合は、その点も記入してください。
- 今後の計画  
今後の活動展開の考え方について記入してください。
- その他  
その他、表彰の対象となる取組についてアピールしたいポイントや、地球温暖化問題以外への波及効果など、自由に記入してください。

キ 応募（推薦）理由

他薦の場合は、推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。

ク 備考

応募の際に添付する資料名等を記入してください。

資料は、開発した技術や製品・サービスがわかるパンフレットやカタログ、内外に説明する際に用いた説明資料等で公開が可能なものなどを添付してください。

また、技術的な内容を説明する書類として、特許の出願公開がなされている場合は、当該公開資料を添付することも可能です。

※ 参考資料等は、A4サイズで合計20ページ以内としてください。冊子、パンフレットなどは該当箇所のみをお送りください。特許の出願公開資料等で20ページ以上となる場合は問合せ先まで御相談ください。

(4) 応募（推薦）調書（ユース未来部門：様式6、様式7、様式8）

ア 基本情報

個人の場合は氏名・連絡先・生年月日及び令和6年10月1日時点の年齢・住所を、学校等の場合は学校等名・代表者職氏名・所在地・連絡先・担当者名を、団体の場合は団体名・代表者職氏名・所在地・構成人員数（30歳未満及び全体）・連絡先・担当者名を記入してください。

イ 学校等、団体の事業概要

学校等又は団体の場合は、学生等数・構成員数、設置目的、これまで活動してきた履歴等を簡潔に記入してください。

ウ ウェブサイト、SNSなど

取組内容等をウェブサイトやSNS（フェイスブック等）などで紹介している場合、URLを記入してください。

エ これまでの受賞歴

今回の表彰の対象として応募した取組に関し、過去に受けたことのある賞の名前、賞の主催者及び受賞した年度を記入してください。

オ 主な活動地域

普及・促進等の場合は、活動している主な地域について記入してください。（例：〇〇市内、

神奈川県全域) 技術導入・開発の場合は空欄として差し支えありません。

カ 取組の目的

取組を始めた動機や目的・目標などを記入してください。

キ 神奈川県との関わり

県と連携して活動した実績がある場合は記載してください。

ク 活動開始年月、活動期間

活動を開始した年月と、活動期間を記載してください。

ケ 取組の内容

具体的な取組内容について、実施頻度・参加人数、取組における工夫や独自で実践している内容、地域や他団体への普及や連携等、記載例を参考に、実績及び成果をできるだけ具体的に・定量的にもれなく記入してください。

○ 取組実績

脱炭素に向けた実践的な活動の期間及び範囲等具体的な活動内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。

※ この欄に記入しきれない場合は、別紙(様式任意)にて追加説明が可能です。その場合は「備考」欄に資料名等を記入してください。

○ 若年者らしい発想や独自性

活動における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。

○ 将来性

今後どのように取組を発展させ、さらに成果を挙げていくのか、将来に向けた見込み等を記入してください。

○ 普及効果

地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。

○ 連携

地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の見込み等を記入してください。

○ その他

上記のほか、取組の成果や、アピールしたいポイントなどを自由に記載してください。

コ 応募(推薦)理由

他薦の場合は、推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。

サ 備考

取組の内容が分かる参考資料等を添付した場合はその資料名等を記入してください。

先進技術・導入に係る取組の場合は、開発した技術や製品・サービスがわかる資料等で公開が可能なものなどを添付してください。また、技術的な内容を説明する書類として、特許の出願公開がなされている場合は、当該公開資料を添付することも可能です。

※ 参考資料等は、A4サイズで合計20ページ以内としてください。冊子、パンフレットなどは該当箇所のみをお送りください。特許の出願公開資料等で20ページ以上となる場合は問合せ先まで御相談ください。

(5) 団体構成員の年齢に関する誓約書(ユース未来部門 団体用: 様式9)

構成員全員の氏名・生年月日及び令和6年10月1日時点の年齢を記載した団体名簿を作成し、構成員の過半数は30歳未満であることを誓約してください。

(問合せ先)

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

神奈川県 環境農政局 脱炭素戦略本部室 企画グループ

電話 045-210-4076 (直通)

FAX 045-210-8952